



献血 一貴い命を救う「愛の贈り物」一

献血は医療を支える力

人間の生命を維持するために、欠くことのできない血液——。人工的に造ることができず、長期保存もできません。そのため、輸血に必要な血液を医療機関に安定して届けるためには、絶えず誰かの献血が必要なのです。

現在、献血は全国で年間に約527万もの人の協力があって、輸血を中心に医療を支える力となっています。

献血の種類

献血には、血液中の全ての成分を採血する全血献血(400・200ml献血)と、特定の成分だけを採血する成分献血があります。

県内各地を回る献血バスでは、全血献血を行っています。また一定の基準を満たしている人には、必要性の高い400ml献血をお願いしています。

なぜ400ml献血が必要なのでしょう？

一人一人の血液は、血液型が同じでも微妙に違います。このため同型であっても、一人に複数の血液を合わせて輸血するほど、副作用(発熱・発疹など)の発生の可能性が高くなります。400ml献血や成分献血は、献血量が多いことから、少ない献血者からの輸血を可能にし、輸血の安全性の向上につながるのです。

献血者の健康を守るための基準

献血に協力してくれる人の健康を守るためと、輸血を受ける人をウイルスなどの感染から守るために、献血にはさまざまな基準が設けられています。

医師の問診、血圧の測定、血液検査などを行い、基準を満たした場合に献血を行うことができます。また感謝の気持ちとして、生化学検査成績(7項目)および血球計数検査成績(8項目)を、希望した人に通知しています。

くわしい内容は、千葉県赤十字血液センターのホームページ(<http://www.chiba.bc.jrc.or.jp/>)で見ることができます。

【千葉県赤十字血液センター】